

- 外国人から「選ばれる」県づくりを目指し、本県の強み・弱みを客観的な指標で可視化させ、施策の充実・強化につなげていくため、全国初の取組となる外国人版幸福度指標を策定。
- 在留外国人等の意見を踏まえ、他自治体と比較可能、かつ客観的に評価可能な政府統計等を活用し計14指標を設定。

	指標名	計算方法	指標値	標準化変量※1	分野順位※2	総合順位
働く WORK 	貯金仕送りしやすさ指数	最低賃金－消費者物価地域差指数	0.72pt	0.72	6位 (0.59)	4位 (1.79)
	日本人と外国人の共働率	外国人労働者数/労働力人口	2.9%	0.57		
	外国人雇用事業所率	外国人雇用事業所数/全事業所数	6.1%	1.60		
	専門的・技術的人材率	専門的・技術的分野の在留資格取得者数/外国人労働者数	25.0%	-0.03		
	外国人労働者の失踪者率	技能実習生の失踪者数/技能実習生数	2.4%	0.10		
住む LIVE 	日本人と外国人の共生率	外国人人口/県人口	2.9%	1.01	5位 (0.79)	
	外国人相談窓口設置率	外国人相談窓口のある市区町村数/市町村数	20.5%	-0.21		
	地域(生徒)の英語力	CEFR A2相当以上取得生徒数/生徒数（高校3年生）	38.7%	1.11		
	日本語教室設置率	日本語教室設置市町村数/市町村数	86.4%	1.23		
	外国人患者受入医療機関率	外国人患者を受け入れる医療機関数/医療機関数	3.1%	0.83		
学ぶ LEARN 	外国人児童・生徒率	外国人児童生徒数/全児童・生徒数	1.6%	1.20	6位 (0.41)	
	日本語指導を必要とする児童・生徒への支援体制	日本語指導が必要な児童生徒数/支援員数	11.6人 /支援員1人	-0.30		
	外国人生徒向け入学特別定員枠等の設定率	外国人生徒向け特別定員枠設定校数または編入学実施校数/公立高校数	100%	0.84		
	留学生率	留学生/県人口	0.1%	-0.12		

※1 その数値が平均値 0 からどれだけ離れているかを表したもので、学校のテスト等で用いる「偏差値」と同義。
※2 () は分野別の標準化変量の平均値。総合順位は各分野の平均値を合算。

指標の活用方法

○ 国内外の外国人へ発信 選ばれる茨城県へ

海外の外国人向けPR

- ・本県と協力覚書を締結している
国や教育機関
- ・海外報道機関や外国公館



主なターゲット
家族帯同や定住等により、
中長期的に活躍する外国人



国内の外国人向けPR

- ・茨城県留学生就職促進コンソーシアム
- ・IBARAKIネイティブコミュニケーションサポーター など

○ 施策の充実と強化

本県の強み・弱みを踏まえ、施策へ反映



参考 他自治体の順位

	分野	自治体名	標準化変量	総合	自治体名	標準化変量
働く	1位	東京都	1.43	1位	東京都	4.03
	2位	愛知県	1.16	2位	三重県	1.87
	3位	群馬県	0.85	3位	愛知県	1.82
	4位	三重県	0.77			
	5位	栃木県	0.62	4位	茨城県	1.79
	6位	茨城県	0.59	5位	静岡県	1.73
住む	1位	東京都	1.45	6位	栃木県	1.38
	2位	福井県	0.88	7位	兵庫県	1.37
	3位	静岡県	0.83	8位	京都府	1.34
	4位	滋賀県	0.81	9位	大阪府	1.31
	5位	茨城県	0.79	10位	岐阜県	1.24
学ぶ	1位	東京都	1.15			
	2位	京都府	0.64			
	3位	岐阜県	0.63			
	4位	三重県	0.58			
	5位	静岡県	0.44			
	6位	茨城県	0.41			

参考 在留外国人等からの主な意見

外国人に選ばれるために必要なことは..

労働環境



外国人

- ・ 賃金だけでなく、地域の物価も含めたトータル（収支）で就労先を選ぶ



外国人

- ・ 外国人のいない企業にエントリーする場合、ビザの諸手続きなど受入環境が不安...



企業

- ・ 長く働いてもらうためには、専門性を磨くための支援も重要



いくら仕送り・貯金できるか



企業における外国人雇用の経験値
（外国人雇用企業数の拡大など）



技能実習から特定技能への切替、
介護福祉士の資格取得支援 など

生活環境



外国人

- ・ 語学学習は異文化理解や多文化共生に重要



外国人

- ・ 地域に外国人が多いと、生活する上で安心感
施策や支援が充実している傾向



日本人の英語力向上と
外国人の日本語学習機会の拡充



相談窓口の充実（行政・病院など）

教育環境



有識者

- ・ 外国人児童生徒には、きめ細かな日本語指導
や就学機会の確保・支援が重要



外国人

- ・ 留学生が多ければ、多様な文化や質の高い教育に
触れる機会が多い



・ 日本語指導の支援充実
・ 特別定員枠等を活用した
就学機会の確保